

全港湾第 56 期労働講座に参加して

全港湾関西地方阪神支部  
書記長 久保田 稔

今回の中央労働講座は各書記長レベルの招集指示もあり、約 10 年ぶりの参加でした。全港湾の歴史や現産別協定の構築経過と事前協議の重要性を学習しました。これまで地元でも港湾運送事業法や港労法、港湾産別協定や事前協議制度など学習会や、諸先輩から直接聞くなど学びの機会はありましたが、第 56 期でも歴史や港湾の秩序維持の基盤となる講義を受け、私自身が常に意識する一つのテーマの学習を一回きりにするのではなく、何度でも学習することが重要だと再認識しました。

また、第 56 期の仲間とのグループ討論でも、お互いが抱える問題などを共有し切磋琢磨出来たのではと感じています。今後も学習意欲を高め組織発展に向け頑張りたいと思います。

以上